

平成20年度 第13回 肥後医育振興会医学研究助成金受賞者紹介

循環器疾患における酸化ストレスマーカー測定の有効性の検討

熊本大学医学部附属病院
循環器内科 助教

永吉 靖央



この度は肥後医育振興会医学研究助成金を賜り、誠にありがとうございます。関係者の皆様には深く御礼を申し上げます。

われわれが研究している「酸化ストレス」とは酸化的損傷能力と生体内抗酸化システムの差として定義されています。一般に体の中の錆びと考えても良いかもしれませんが。社会の高齢化に伴い虚血性心疾患が増加してきておりますが、この病態に酸化ストレスが関与していることが近年の研究で明らかになってきました。従って実際の臨床診療において酸化ストレスを定量することが期待されるのですが、手技的に困難な点も多く、まだ課題が残されているのが現状でした。われわれの研究室ではバイオリン、8-hydroxy-2'-deoxyguanosine といった酸化ストレスマーカーを測定し、病態の解明を試みています。これまでのところ、うつ血性心不全や急性冠症候群の患者さんでは実際にこれらのマーカーが上昇しており、心事放り Stokes の層別化に有用であることが明らかになりました。今回の受賞を励みとして、簡便な酸化ストレス測定が確立し、日常診療にいかすことができるように研究を進めてまいりたいと思います。

HIV-1 Nef タンパク質の病原性発現機構の解明

熊本大学エイズ学研究センター
予防開発分野 特定事業研究員

日吉 真照



この度は肥後医育振興会医学助成金を賜り、誠にありがとうございました。関係者の皆様には深く御礼申し上げます。今回の受賞を励みにして、さらなる飛躍を目指したいと思います。

私は現在、AIDS 発症の分子機構を解析し、それによって得られる情報をもとに、AIDS の新たな治療薬の開発を目指して研究を行っています。AIDS 発症には、HIV-1 のアクセサリタンパク質である Nef タンパク質が重要であると言われておりますが、その分子機構はよくわかっておりません。そこで私は、Nef タンパク質の機能に着目して研究しています。私はこれまでに、Nef タンパク質はマクロファージの機能制御に重要なサイトカインである M-CSF のシグナルを著しく抑制することを明らかにしました。現在、このシグナル異常についての分子機構を詳細に解析しています。この解析結果が、AIDS 発症の分子機構の解明に貢献できればと考えています。

今回の受賞におきましては、日頃よりご指導いただいております。今回の応募に際し快く推薦人をお引き受けいただきました岡田誠治教授に心から感謝の意を表したいと思います。

腫瘍内微小環境におけるマクロファージのオルタナティブ活性化のメカニズムと癌治療への応用

熊本大学大学院医学薬学学部
細胞病理学分野 助教

菰原 義弘



この度は、肥後医育振興会医学研究助成金を賜り、まことにありがとうございます。関係者の皆様には深く御礼申し上げます。

私は現在、がんの微小環境におけるマクロファージの役割について研究を行っています。最近、腫瘍組織におけるマクロファージの分化が、腫瘍の悪化と関連していることが見出し、腫瘍組織におけるマクロファージの分化のメカニズムについて研究を行っています。腫瘍細胞が産生する様々な因子によって、マクロファージが M2 へ分化しますが、この課程における STAT3 の役割を今後検討していこうと考えています。更に、この研究を通して腫瘍細胞とマクロファージの細胞間相互作用について、新しい培養・解析技術を現在確立しつつあり、新しいマクロファージの側面についても見出すことができると期待しています。

今回の受賞におきましては、日頃より竹屋元裕教授をはじめ、研究室の皆さんにアドバイスを頂いており、心から感謝の意を表したいと思います。

肝 perfusion MRI

熊本大学医学薬学学部
画像診断解析学寄附講座 特任助教

中浦 猛



この度は肥後医育振興会医学研究助成金を賜り、誠にありがとうございます。関係者の皆様には深く御礼を申し上げます。

肝臓の血流を定量する perfusion imaging は肝機能の評価や肝腫瘍の鑑別に関して、形態情報とは全く異なる機能情報を得ることができます。しかし、CT perfusion imaging は被曝と撮像範囲の問題があるため、一部の施設で行われているのみでした。われわれの研究室では 3T MRI を使用して CT にせまる空間分解能と時間分解能を持つ dynamic MRI の撮像シーケンスを開発しており、現在 perfusion image への応用を検討中です。現時点では定量性の問題はあるものの、定性評価では CT とほぼ同等の結果を得ることが可能になっています。今回の受賞を励みとして、CT perfusion image に迫る定量評価の手法を確立できるように研究を進めたいと思います。

この度、肥後医育振興会から外国人留学生奨学金を賜り、誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

私は中国の哈爾濱医科大学の修士を卒業後、二〇〇八年の四月に熊本大学大学院医学教育部に入学しました。今は博士課程一年で、分子病理学分野で勉強しております。私の研究テーマは「マクロファージシグナル抑制活性を持つ CD4 a ナンファイラトキシンやサイトカインの役割」です。炎症性滑膜組織中の S191 ポリソーム蛋白質由来のマクロファージ遊走因子及び、関節液のマクロファージシグナル抑制活性を持つ CD4 a の役割を軸に解明したいと考えています。

初めて一人で外国の生活は、本当に簡単ではありません。外国人留学生に対して理解ある団体の肥後医育振興会の奨学金をいただいております。大変感謝しています。家の両親も喜んで、「あり」と言っています。私は、決意して、世界の先端医学技術



熊本大学大学院医学教育
博士課程一年(中国) 分子病理学分野
謝 佩玉

この度、肥後医育振興会から外国人留学生奨学金を賜り、誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

この中で、実際の研究ではホルモンの大腿骨の骨髄の洗浄液を用いる、この中に S191 ポリソーム蛋白質二量体があるかどうかをまず調べます。この研究で、ダイアモンド・プラットフォームを始めてみることに決めました。ダイアモンド・プラットフォームで、治療法が見つかるとも知れないと思います。

私費留学生として、生活費や授業料など経済的な壁を実感しました。外国人留学生に対して理解ある肥後医育振興会に大変感謝しております。これからできるだけ一生懸命に勉強・研究していきたいと思っております。

この度、肥後医育振興会から外国人留学生奨学金を賜り、深くお礼を申し上げます。私は二〇〇八年四月に熊本大学大学院医学教育部に入学しました。今は修士課程一年で、医学薬学部の分子病理学分野で勉強しております。大学時代から特に病気の発生及び治療に関する研究に興味を持っていました。私の研究テーマは「S191 ポリソーム蛋白質二量体の赤血球分化における役割」です。S191 ポリソーム蛋白質は、細胞内の蛋白質合成装置リボソームの構成成分です。S191 ポリソーム蛋白質は小サブユニットの意味で、つまり、この蛋白質は小サブユニットを構成する三十三種の蛋白質の一つのことです。一方で、最近 S191 ポリソーム蛋白質の異常がダイアモンド・プラットフォーム貧血症の原因の一つになっているという研究報告がありました。この貧血症は生まれつきの病気ですが、その二五%が系に S191 ポリソーム蛋白質二量体の異常があったと推定されています。これも S191 ポリソーム蛋白質二量体が赤血球造血に関係していることを示唆するものです。そこで実際の研究ではホルモンの大腿骨の骨髄の洗浄液を用いる、この中に S191 ポリソーム蛋白質二量体があるかどうかをまず調べます。この研究で、ダイアモンド・プラットフォームを始めてみることに決めました。ダイアモンド・プラットフォームで、治療法が見つかるとも知れないと思います。

私費留学生として、生活費や授業料など経済的な壁を実感しました。外国人留学生に対して理解ある肥後医育振興会に大変感謝しております。これからできるだけ一生懸命に勉強・研究していきたいと思っております。



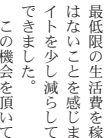
熊本大学大学院医学教育
修士課程一年(中国) 分子病理学分野
謝 俊

この度は、肥後医育振興会から外国人留学生奨学金を賜り、誠にありがとうございます。関係者の皆様には深く御礼申し上げます。

私は二〇〇八年四月に熊本大学大学院医学教育臨床行動科学分野に入っており、今修士課程一年目です。今研究している内容は行動嗜癖という病的な依存です。

いったん始めるという自制力できなくなる行為を行動嗜癖と呼びます。これはちょうどアルコールや不法薬物を始めて中止できなくなる物質乱用・物質依存と類似の心理的構造であるといわれています。近年の若者はネット、メールなどに「はまりこみ」、対人的孤立を深めることが認められます。加えてパチンコなどの賭博に過剰な時間と費用を使い、極端な例では自己破産に至ることがあり、日本だけじゃなく、世界的な社会問題となつております。これらの行動嗜癖は、刺激を遮断すれば「治癒」できるものではないと思っております。そのため、私は行動嗜癖の根本にパーソナリティの問題があるとの仮説を研究しています。

これからは、勉強も研究も、精一杯頑張りたいと思います。また、日中友好関係を保つように努力したいと思っております。



熊本大学大学院医学教育
博士課程一年(中国) 臨床行動科学分野
謝 暁

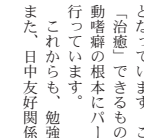
平成二十年外国人留学生奨学金を頂き、誠に有難う御座いました。心よりお礼を申し上げます。

今年四月、大学院医学教育博士課程に入学し、消化器外科の馬場秀夫教授の指導下で肝内胆管癌の勉強と研究をしている中国内モンゴルから来たハスタと申します。

私費留学生であるため、勉強と研究を行うと同時に、学費や最低限の生活費を稼ぎにアルバイトするのは決して簡単な事ではないことを感じました。今回の奨学金を頂いてから、アルバイトを少し減らして、その分、時間を勉強と勉強に使える事ができました。

この機会を頂いて、研究の進行状況についても、ちよつと報告させていただきます。今度、肝内胆管癌に浸潤しているマクロファージの役割についての研究をしています。マクロファージは様々な癌種で腫瘍細胞の増殖、浸潤を促進し、予後不良因子と言われておりますが、肝内胆管癌ではまだ検討されてないのです。肝内胆管癌に浸潤するマクロファージに注目して実験を行いました。肝内胆管癌に浸潤するマクロファージ(特に CD116 陽性と成る抑制性マクロファージ)は、制御性 T 細胞、血管新生と相関し、マクロファージの数が多ければ予後不良の結果でした。今からこの事について論文を書きまします。

私費留学生生活は大変ですが、夢を叶えるためにも、日本での留学生生活を支援下さった方々のために精一杯頑張りたいと思っております。



熊本大学大学院医学教育
博士課程一年(中国) 消化器外科科学分野
謝 哈斯塔

平成20年度 第十二回 外国人留学生 奨学金受賞者紹介

この度は、肥後医育振興会から外国人留学生奨学金を賜り、誠にありがとうございます。関係者の皆様には深く御礼申し上げます。

私は二〇〇八年四月に熊本大学大学院医学教育臨床行動科学分野に入っており、今修士課程一年目です。今研究している内容は行動嗜癖という病的な依存です。

いったん始めるという自制力できなくなる行為を行動嗜癖と呼びます。これはちょうどアルコールや不法薬物を始めて中止できなくなる物質乱用・物質依存と類似の心理的構造であるといわれています。近年の若者はネット、メールなどに「はまりこみ」、対人的孤立を深めることが認められます。加えてパチンコなどの賭博に過剰な時間と費用を使い、極端な例では自己破産に至ることがあり、日本だけじゃなく、世界的な社会問題となつております。これらの行動嗜癖は、刺激を遮断すれば「治癒」できるものではないと思っております。そのため、私は行動嗜癖の根本にパーソナリティの問題があるとの仮説を研究しています。

これからは、勉強も研究も、精一杯頑張りたいと思います。また、日中友好関係を保つように努力したいと思っております。



熊本大学大学院医学教育
博士課程一年(中国) 臨床行動科学分野
謝 暁